



2026年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年12月12日

上場会社名 株式会社石井表記 上場取引所 東
コード番号 6336 URL <https://www.ishiihyoki.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 晋宏
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 松井 忠則 TEL 084-960-1247
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年1月期第3四半期の連結業績（2025年2月1日～2025年10月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年1月期第3四半期	11,791	6.8	945	48.4	1,017	33.7	803	39.2
2025年1月期第3四半期	11,037	△10.1	637	△46.1	760	△41.2	577	△43.0

(注) 包括利益 2026年1月期第3四半期 594百万円 (△8.8%) 2025年1月期第3四半期 652百万円 (△51.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年1月期第3四半期	99.63	—
2025年1月期第3四半期	70.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年1月期第3四半期	15,876	10,070	63.4
2025年1月期	15,700	9,738	62.0

(参考) 自己資本 2026年1月期第3四半期 10,070百万円 2025年1月期 9,738百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年1月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2026年1月期	—	0.00	—		
2026年1月期（予想）				20.00	20.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年1月期の連結業績予想（2025年2月1日～2026年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,261	3.0	1,006	10.9	1,053	△5.1	804	2.0	99.28

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は(添付資料) 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は(添付資料) 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年1月期3Q	8,176,452株	2025年1月期	8,176,452株
2026年1月期3Q	188,635株	2025年1月期	23,827株
2026年1月期3Q	8,067,921株	2025年1月期3Q	8,152,228株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、(添付資料) 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(収益認識関係)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、堅調な企業業績を背景にした雇用・所得環境の改善、インバウンド需要の拡大等により緩やかな回復基調で推移しました。一方で、米国の通商政策動向、不安定な為替相場、各種物価上昇による個人消費の停滞等が懸念され先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

当社グループにおきましては、プリント基板分野においては、スマートフォンやパソコン等の民生機器の需要回復は遅れているものの、AI関連の半導体需要は高まっており同分野向けのパッケージ基板の需要は増加傾向にあります。液晶関連分野におきましては液晶パネルの大幅な需要回復は見られないものの、中国においては電子部品実装需要に回復傾向が続いております。

このような環境のもと、当第3四半期連結累計期間の売上高は117億91百万円（前年同期比6.8%増）となり、営業利益は9億45百万円（前年同期比48.4%増）、経常利益は10億17百万円（前年同期比33.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億3百万円（前年同期比39.2%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

（電子機器部品製造装置）

プリント基板分野では、スマートフォンやパソコン等の民生機器向けのプリント基板設備投資は停滞していますが、AI関連向けパッケージ基板の設備投資が増加したことや生産消耗品の販売が増加したこと、高機能材料向け設備を売上計上したことなどから、前年同期と比較し売上高は増加しました。

液晶関連分野におきましては、液晶パネルの大幅な需要回復が見られないなかで、生産消耗品の販売は増加しましたが、液晶パネル製造装置の販売が減少し、売上高は前年同期と比較し減少しました。

その結果、売上高は38億39百万円（前年同期比11.9%増）、営業利益は6億54百万円（前年同期比45.4%増）となりました。

（ディスプレイ及び電子部品）

自動車向け印刷製品及び工作機械並びに産業用機械向け操作パネルについては、顧客の生産調整が続き、売上高は前年同期と比較し減少しました。

連結子会社におきましては、JPN, INC. は新規顧客開拓や既存顧客の新規量産品獲得に注力し、前年同期と比較して増収増益となりました。上海賽路客電子有限公司においても、主要顧客からの受注が増加基調となっており前年同期と比較して増収増益となりました。

その結果、売上高は79億45百万円（前年同期比4.6%増）、営業利益は2億91百万円（前年同期比55.6%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ1億76百万円増加の158億76百万円となりました。

流動資産は、106億85百万円となり前連結会計年度末と比べ5億52百万円増加いたしました。これは受取手形及び売掛金が3億35百万円、現金及び預金が2億74百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

固定資産は、51億90百万円となり前連結会計年度末と比べ3億76百万円減少いたしました。これは有形固定資産合計で2億78百万円、投資その他の資産合計で69百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べて1億55百万円減少の58億6百万円となりました。

流動負債は、42億50百万円となり前連結会計年度末と比べ4億25百万円増加いたしました。これは、1年内返済予定の長期借入金が2億72百万円、短期借入金が57百万円、その他に含まれる前受金が45百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

固定負債は、15億56百万円となり前連結会計年度末と比べ5億80百万円減少いたしました。これは長期借入金が5億87百万円減少したことなどによるものであります。

純資産は、100億70百万円となり前連結会計年度末と比べ3億31百万円増加いたしました。これは為替換算調整勘定が1億96百万円減少し自己株式が99百万円増加したものの、剰余金の配当を1億63百万円実施しながらも親会社株主に帰属する四半期純利益を8億3百万円計上したことにより利益剰余金が6億40百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、自己資本比率は63.4%になりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における業績及び今後の見通しを勘案した結果、現時点において2025年9月11日に公表しました連結業績予想からの変更はありません。

今後の業績動向等により、修正の必要が生じた場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,086	4,361
受取手形及び売掛金	3,319	3,654
商品及び製品	363	349
仕掛品	960	773
原材料及び貯蔵品	1,251	1,362
その他	151	184
貸倒引当金	—	△0
流動資産合計	10,132	10,685
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,005	931
機械装置及び運搬具（純額）	1,601	1,513
土地	1,970	1,871
その他（純額）	397	380
有形固定資産合計	4,975	4,697
無形固定資産		
その他	96	68
無形固定資産合計	96	68
投資その他の資産		
その他	563	494
貸倒引当金	△68	△68
投資その他の資産合計	494	425
固定資産合計	5,567	5,190
資産合計	15,700	15,876

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年10月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,657	1,698
短期借入金	663	720
1年内返済予定の長期借入金	420	692
未払法人税等	159	170
賞与引当金	56	123
その他	867	845
流動負債合計	3,824	4,250
固定負債		
長期借入金	629	42
退職給付に係る負債	516	522
その他	991	991
固定負債合計	2,136	1,556
負債合計	5,961	5,806
純資産の部		
株主資本		
資本金	300	300
資本剰余金	1,107	1,107
利益剰余金	7,333	7,973
自己株式	△20	△120
株主資本合計	8,720	9,261
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22	23
為替換算調整勘定	977	780
退職給付に係る調整累計額	17	4
その他の包括利益累計額合計	1,018	808
純資産合計	9,738	10,070
負債純資産合計	15,700	15,876

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 （四半期連結損益計算書）
 （第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年2月1日 至 2024年10月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年2月1日 至 2025年10月31日）
売上高	11,037	11,791
売上原価	8,560	9,022
売上総利益	2,476	2,769
販売費及び一般管理費	1,839	1,823
営業利益	637	945
営業外収益		
受取利息	40	44
受取配当金	3	4
受取賃貸料	28	32
為替差益	3	3
助成金収入	55	37
増値税還付金	36	19
その他	17	26
営業外収益合計	186	169
営業外費用		
支払利息	33	35
シンジケートローン手数料	—	22
減価償却費	15	16
その他	13	23
営業外費用合計	62	97
経常利益	760	1,017
特別利益		
固定資産売却益	5	8
特別利益合計	5	8
特別損失		
固定資産売却損	7	—
固定資産除却損	0	2
特別損失合計	7	2
税金等調整前四半期純利益	758	1,023
法人税等	181	219
四半期純利益	577	803
親会社株主に帰属する四半期純利益	577	803

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年2月1日 至 2024年10月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年2月1日 至 2025年10月31日）
四半期純利益	577	803
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	0
為替換算調整勘定	89	△196
退職給付に係る調整額	△10	△13
その他の包括利益合計	74	△209
四半期包括利益	652	594
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	652	594
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（会計方針の変更に関する注記）

（「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用）

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日）第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年2月1日 至 2024年10月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年2月1日 至 2025年10月31日）
減価償却費	482百万円	449百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年2月1日 至 2024年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子機器部 品製造装置	ディスプレ イ及び電子 部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,430	7,599	11,030	7	11,037	—	11,037
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,430	7,599	11,030	7	11,037	—	11,037
セグメント利益	449	187	636	0	637	—	637

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメント及び付随的な収益を獲得するに過ぎない構成単位であります。

2. セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年2月1日 至 2025年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子機器部 品製造装置	ディスプレ イ及び電子 部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,839	7,945	11,785	6	11,791	—	11,791
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,839	7,945	11,785	6	11,791	—	11,791
セグメント利益	654	291	945	0	945	—	945

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメント及び付随的な収益を獲得するに過ぎない構成単位であります。

2. セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年2月1日 至 2024年10月31日)

財又はサービスの種類別の内訳

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計
	電子機器部 品製造装置	ディスプレイ 及び電子部品	計		
プリント基板関連事業	1,942	—	1,942	—	1,942
液晶関連事業	1,211	—	1,211	—	1,211
印刷・表面加工事業	—	1,718	1,718	—	1,718
操作パネル関連事業	—	1,017	1,017	—	1,017
電子部品実装事業	—	4,778	4,778	—	4,778
その他	275	84	360	7	367
外部顧客への売上高(注) 2	3,430	7,599	11,030	7	11,037

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメント及び付随的な収益を獲得するに過ぎない構成単位であります。

2. 外部顧客への売上高は、顧客との契約から生じる収益を源泉としております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年2月1日 至 2025年10月31日)

財又はサービスの種類別の内訳

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計
	電子機器部 品製造装置	ディスプレイ 及び電子部品	計		
プリント基板関連事業	2,600	—	2,600	—	2,600
液晶関連事業	864	—	864	—	864
印刷・表面加工事業	—	1,832	1,832	—	1,832
操作パネル関連事業	—	897	897	—	897
電子部品実装事業	—	5,174	5,174	—	5,174
その他	374	40	415	6	421
外部顧客への売上高(注) 2	3,839	7,945	11,785	6	11,791

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメント及び付随的な収益を獲得するに過ぎない構成単位であります。

2. 外部顧客への売上高は、顧客との契約から生じる収益を源泉としております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。